

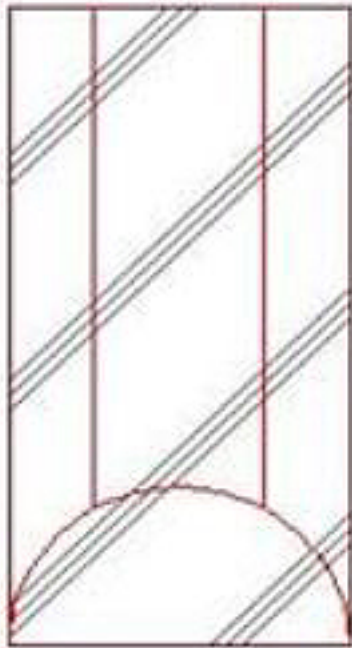
3D表示

傾斜のついた面に縁石を配置するには？

作成した傾斜地の勾配に合わせて縁石を配置する場合、『傾斜調整』機能を使用し、『縁石作成』機能で作成した縁石を傾斜面に合わせて配置することができます。

「メッシュ」ツールで描いた傾斜平面上に、「線」や「ポリラインツール」で下書き線（縁石のアウトライン）を描きます。

この時、下書き線がメッシュからはみ出さないよう注意してください。
（傾斜調整が実行されない可能性があります。）



作図した下書き線を矢印ツールなどで選択し、『縁石作成』機能で縁石を作成します。作成された縁石は、適当な高さで水平に配置された状態で結構です。RIKCAD7以降は、「縁石作成」画面にて「傾斜調整」を行いながら配置する設定もあります。（「[関連項目：縁石作成](#)」を参照してください）

メニューバーより[土間 アプローチ]もしくは[編集 補助]>「傾斜調整」をクリックします。
「傾斜調整」の設定画面をパレットを表示します。

3D表示



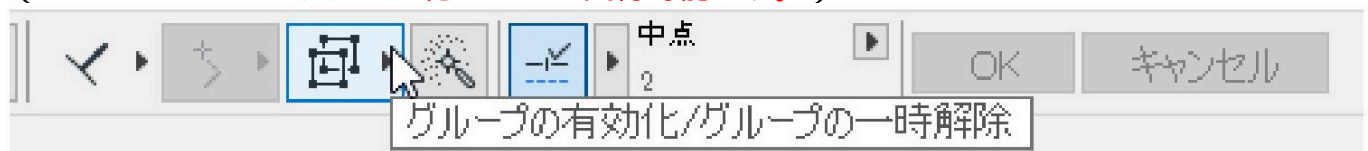
傾斜面を「矢印」ツールなどで選択状態にし、「土台要素を取得」ボタンをクリックします。

次に傾斜面に合わせる為に作成した縁石を選択状態にし、「対象要素を取得」ボタンをクリックします。

画面下側の制御ボックスより「グループ化の一時解除」を行います。
制御ボックス内の「グループの有効化/一時解除」ボタン（下図参照）を長押しし、『右側』の

一時解除のボタンを選択します。

（ RIKCAD7/8/9はグループ化のままで実行可能です。 ）



「傾斜調整」の設定画面下側の『回転タイプ』にチェックを入れ、「実行」ボタンをクリックします。

傾斜調整が実行され、「対象要素」として選択指定された面が土台の傾斜に沿って表示されます。

3D表示

傾斜調整

x

土台要素を取得

1 個の土台を選択しています。

対象要素を取得

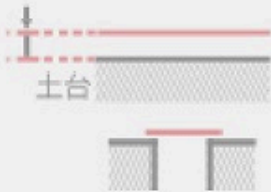
75 個の傾斜対象を選択しています。

傾斜対象要素の形状



スラブ、メッシュ

オフセット

☐ 土台重複部を削除する



オブジェクト

☒  回転タイプ ☐  変形タイプ

実行

3Dウィンドウを表示して、傾斜調整が実行されているかどうかを確認して完了です。



3D表示

縁石の他にも、『車止め』や『手摺り系フェンス』などパラメータ欄に『傾斜可能』といった記載があるオブジェクトは、同様の手順で斜面に沿って配置することが可能です。

 カスタム設定

| | | | |
|-------------|-----|---|---|
| 名称 | 車止め |  |  |
| タイプ | 長方形 | | |
| 横幅 | 500 | | |
| 縦幅 | 100 | | |
| 高さ | 100 | | |
| カラー | 薄灰 |    | |
| 配置数 | 1個 | | |
| 間隔 | 500 | | |
| 単価 | 0 | | |
| 傾斜可能 | | | |
| 傾斜リセット | |  | |

【関連項目】

- ・ [傾斜調整](#)

一意的なソリューション ID: #1160

製作者: 亀田

最終更新: 2020-05-07 15:31